

JTA 公式トーナメント一般大会のシステム化にともなうルール変更ポイント

平成 26 年度より JTA 公式トーナメントの一般大会について、エントリー受付から試合の結果入力まで、トーナメントの運営全般にわたってシステム化していくことになりました。

選手の皆さまに関係する部分の主な部分を抜粋しましたので、ご確認をお願いします。

(1) システム化にともなって変更になる手続きまたはルール(主なものを抜粋)

a 各種手続きは、選手向けポータルサイト「JTA プレーヤーゾーン」から

大会エントリー、ウィズドロー、各大会のドローやエントリーリストの確認、過去のエントリー履歴、選手登録情報の更新など、JTA 公式トーナメントに出場する選手が行う手続きの多くは、このサイト上で行っていただけるようになります。JTA 一般登録選手はもちろん、登録のない選手でも利用することができます。

b ダブルスのエントリー方法

ダブルスのエントリーを JTA プレーヤーゾーンから行う場合は、ペア各選手がそれぞれにエントリーを行います。エントリー画面で出場種目を選択する際、ダブルス種目を選ぶと、ペアを組む予定の選手の選手番号(M または F+5 桁の番号)を指定することができます。

ペアに指定すると相手選手にその旨のお知らせメールが送信されます。

ペア双方がお互いを指定してエントリーを行うと、ペアが自動的に成立します。

* ペア不成立の例 A 選手が B 選手を指定したとしても、B 選手がダブルスにエントリーしなかったり、A 選手以外の選手をペアに指定した場合は、A 選手のダブルスエントリーは成立しません。

* したがって、ペアに指定する選手にはあらかじめ連絡の上、了承を得た上でエントリー手続きを行うようにしてください。万が一、間違えて別の選手を指定しまった場合は、ネット受付期間中であれば JTA プレーヤーゾーンより相手を指定しなおしたり、エントリーを取り消したりすることができます。

c JTA オフィシャルランキングの週次発表化

平成 26 年度より、JTA オフィシャルランキングが原則として週次発表となります。

これにより、より正確で公平な選手選考、シーディングが可能となります。

d エントリーおよびウィズドローの日程統一

JTA プレーヤーゾーンからエントリーできる大会については、エントリーおよびウィズドロー受付日程が JTA 公式ルールにて以下のように統一されます。

<エントリー・ウィズドローのスケジュールに関する新ルール(抜粋)>

1) オンラインエントリー受付期間

起算日の 11 週前の月曜日午前 0 時から 3 週前の月曜日午後 14 時まで

2) オンラインウィズドロー受付期間

起算日の 11 週前の月曜日午前 0 時から前週の月曜日午後 14 時まで

3) レイトウィズドローとなる期間

起算日の前週月曜日 14 時以降

* 起算日は、本戦初日を含む週の月曜日となるケースが多いですが、予選初日の日程や本戦初日の曜日により、1 週間分前後にずれる可能性があります。具体的な日付を必ず各大会要項を確認してください。

* また、上記ルールは、出場条件がオープンでない一部の都道府県選手権、郡市町村選手権には適用されませんので、これについても各大会要項にて確認をお願いします。

e ネット受付停止後のウィズドローはレイト扱いとなります(起算日の前週月曜 14 時以降)

平成 26 年度大会より、JTA プレーヤーゾーンからのウィズドロー受付が停止した後にウィズドローされた場合は、「レイトウィズドロー」として、サスペンションポイントの対象となりますのでご注意ください。

f JTA プレーヤーゾーンからエントリーして予選アクセプトタンスリストに載った場合はサイン不要

JTA プレーヤーゾーンからエントリーした場合は、予選サインをしなくてもドローに名前が掲載されることとなります。逆に、出場しない場合には、必ずウィズドロー届の提出が必要となります。正しくウィズドローしないまま試合時刻を過ぎるとペナルティとなります。

また、予選のドロー数に限りのある大会で、オルタネイトリストに名前が載った場合、他の上位選手の欠場等により、予選に自動で繰り上がる可能性があります。

繰り上がって予選リストに名前が載ったあとはサインなしでそのままドローに名前が載りますので、出場しない場合はウィズドロー届が必要となります。

(大会側では、1 人でも多くの選手が出場し活躍してくれることを期待しながら、人数分の受け入れ準備をしています。自らエントリーした大会にやむを得ず出場できなくなった場合は、どんな場合でも、出場しないことの意味表明(ウィズドロー申請)を必ず行うようにお願いします。)

g その他

その他の変更点については、大会要項及びルールブック 2014 年を十分にご確認ください。

また、この書面の内容とルールブックの記載に差異があった場合は、ルールブックの記載を正とします。

以上